



ジャスミンだより

平成27年 春号 マミーローズクリニック



厳しい寒さも少しずつ和らいで、ポカポカとした春の訪れを感じられるようになりました。暖かい日には抱っこやベビーカーでお散歩をして、道端や公園に咲いたんぽぽやつくしなど、お子さんと一緒に見つけて楽しんではいかがでしょうか？



赤ちゃんの吐き戻し

出産して赤ちゃんのお世話が始めると色々なことが心配になると思います。ママ達の心配の一つに、おっぱいやミルクの吐き戻しを聞きます。

首がすわる生後3ヵ月頃までの赤ちゃんの胃は「とっくり」のような形をしていて胃の入口の筋肉もまだ発達しておらず、胃に入った母乳やミルクが逆流しやすい為、吐いたりします。飲んでる時に飲み込んだ空気が胃から食道に戻ってくるのがゲップですが、母乳だけの赤ちゃんは、おっぱいを密着して飲むので空気を吸い込みにくくゲップがでないことがあります。

ゲップが出ていないから吐くわけでもなく、この時期の赤ちゃんは、満腹中枢も未発達なので満腹という感覚がまだ分からず、特に一ヶ月は与えた分だけ飲んでしまいます。しかし胃の大きさもまだ小さいので多かった分は吐いたりします。

吐き戻しを軽減するには授乳の姿勢も大事です。姿勢が悪いと飲み込みにくいこともあります。もし吐いてしまっても機嫌もよく体重が増えていけば心配いりません。まれに肥厚性幽門狭窄症（ひこうせいゆうもんきょうさくしょう）という病気もあります。毎回、大量に吐くのが続いたら一度小児科に相談しましょう。

いつまで吐くかは個人差がありますが、成長するにつれ吐く回数も減ってきます。吐いた後はガーゼを濡らして拭いてあげるとさっぱりしますよ。

「こんな時、どうしたらいいの？」



～かんしゃくをおこす～



前シリーズで「ことば」を掲載してきました。今回からはママたちが「こんな時、どうしたらいいの??」を取り上げていきます。

1歳過ぎると歩き始めたり、ことばが出てきたりして行動範囲も世界も広がっていき、自分でやりたい気持ちを持つようになります。でもまだ、ことばが上手に使えない為、自分の気持ちを大人に伝えられず分かってもらえないと寝転がって怒ったり、泣き叫ぶという姿になって表れます。

スーパーや玩具売り場で「今日は何も買わない」と親子で決めてきたのを見ると欲しくなり、泣かれて困ったことはありませんか？

◎買わないと強い意志を見せる◎周りの目もあるのでつい買ってしまう

◎一旦、その場を一緒に立ち去り他のことに気をそらせるなど、年齢によっても違いますが正解はありません。「買う、買わない」ではなく「もう知らない」と無視したりせず、ことばで伝え子どもの気持ちを受け入れてあげることが大切です。経験させ、何度も繰り返し伝えていきましょう。

積木で遊んでいて、高く積みたいのに出来ず、かんしゃくをおこした時、「こうしたかったのかな～」と一緒にやりながら声をかけ、目的が達成されるとかんしゃくもおさまってきます。

3歳位になると「こうしたかったんだ」と自分の気持ちがことばで表現できるようになり、大人も理解できるのでだんだん落ち着いてきます。

一緒に共感してくれる、気持ちを代弁してくれる、大人とのことばのやりとりは、今後のことばの発達や信頼関係にもつながっていきます。